

NEDO 研究評価委員会
「次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発」(中間評価) 現地調査会
議事要旨

日 時 : 平成 21 年 8 月 6 日 (木) 13:30~16:00

場 所 : 日立ビークルエナジー (株) 東海事業所内

〒312-8505 茨城県ひたちなか市稲田1410番地

1. 出席者

【評価における立場、氏名、所属、役職】

分科会長	脇原将孝	東京工業大学	名誉教授
分科会長代理	佐藤峰夫	新潟大学 自然科学系	教授
委員	狩集浩志	日経 BP 社 日経エレクトロニクス 編集	記者
委員	豊田昌宏	大分大学 工学部応用化学科	教授
委員	仁科辰夫	山形大学 大学院理工学研究科 有機デバイス工学専攻	教授
委員	三木一郎	明治大学 理工学部 電気電子生命学科	教授・理工学部長
委員	門間聰之	早稲田大学 高等研究所	准教授
推進者	弓取修二	NEDO 燃料電池・水素技術開発部 蓄電技術開発室	室長
同	小林弘典	NEDO 燃料電池・水素技術開発部	主任研究員
同	白神 昭	NEDO 燃料電池・水素技術開発部 蓄電技術開発室	主査
実施者	坂田有三	日立ビークルエナジー株式会社	技師長
同	村中 廉	同 設計開発本部	取締役 本部長
同	堀場達雄	同 設計開発本部	主管技師
企画調整者	加藤茂実	NEDO 総務企画部	課長代理
事務局	森山英重	NEDO 研究評価部	主査
同	山本佳子	NEDO 研究評価部	職員
分科会支援者 (シクタク)	坂下雅雄	株式会社日鉄技術情報センター 調査研究事業部	特別研究員

2. 議事要旨

(1) ご挨拶

出席者の自己紹介の後、脇原分科会長から、注目されているプロジェクトであり、今後の発展に繋がる成果を見ることができるとを期待する旨のご挨拶があった。実施者からは、成果とともに、自社製品の量産態勢を紹介する旨が述べられた。また、事務局から、本現地調査会における情報は非公開扱いである旨の説明があった。

(2) 会社紹介、研究開発成果の概略説明

日立ビークルエナジー株式会社から同社の設立の経緯と設立後の活動状況が紹介された。また、LIBES から継続している NEDO プロジェクトによる Li イオン二次電池開発の経緯と本プロジェクトにおける同社の成果概要が説明された。

(3) 研究装置および製造施設の概略説明

東海事業所の Li イオン二次電池の研究装置および量産施設の概要が説明された。

(4) 研究施設、製造施設の調査

Li イオン二次電池の研究施設を見ながら、その構造と動作概要の説明を受けた。また、量産ラインを見ながら、自動車用 Li イオン二次電池の製造工程の説明を受けた。

(5) 質疑応答

(非公開扱いにつき質疑応答については省略)

(6) 閉会

脇原分科会長から大型装置の調査ができたことへのお礼のご挨拶が述べられた。

以上